

平成29年3月23日(木)

四国地方整備局土佐国道事務所

一般国道33号 こうちにし 高知西バイパス(枝川ICえだがわ～天神ICてんじん)**開通後の整備効果**  
**～走行性の向上、交通安全、救急医療、地域活性化に貢献～**

平成28年3月5日(土)に開通した一般国道33号高知西バイパス(枝川IC～天神IC)の開通後1年後の整備効果についてお知らせします。

<開通による主な効果>

効果① 走行性の向上

- 国道33号の走行性が改善し、朝ピーク時(7時台)の高知市方面行きで高知西バイパスを利用した場合、**平均所要時間が最大約6割・11分短縮!**

効果② 交通事故が減少

- 国道33号における**交通事故が約7割減少!**

効果③ 救急医療に貢献

- 高知市内の第三次救急医療施設へのアクセス性が向上し、**30分圏域人口は新たに約124百人から約164百人へ約40百人増加。**

効果④ 地域活性化を支援

- 高知市以東からの来場者が約半数以上を占める**「村の駅ひだか」の売上げ・来客数が約1割増加に寄与!**

※今後も引き続き調査を行い、整備効果を検証していくとともに、早期の全線開通を目指していきます。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災向上プロジェクト」及び「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取り組みに該当します。

お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 電話 088-884-0359 (代表)

副所長 おおにし 大西 よしあき 良明 (内線204)

○計画課長 くさなぎ 草薙 かずお 万男 (内線261)

# 高知西バイパスの開通により、走行性が向上！

- 高知西バイパス開通により、**走行性が大幅に改善**。
- 特に、速度低下の著しかった朝ピーク時(7時台)の高知市方面においては**平均所要時間が最大約6割・11分短縮**。
- なお日高村方面は未開通区間での速度低下が残るため、短縮時間は最大で2割程度。

<上り(➡高知市方面) 開通前後における国道33号の平均所要時間(7時台)の変化>

【いの町・日高村境～枝川交差点間】



平均所要時間が  
最大約6割短縮



▼国道33号の渋滞状況

【開通前】



写真) H27.12.16(水) 撮影

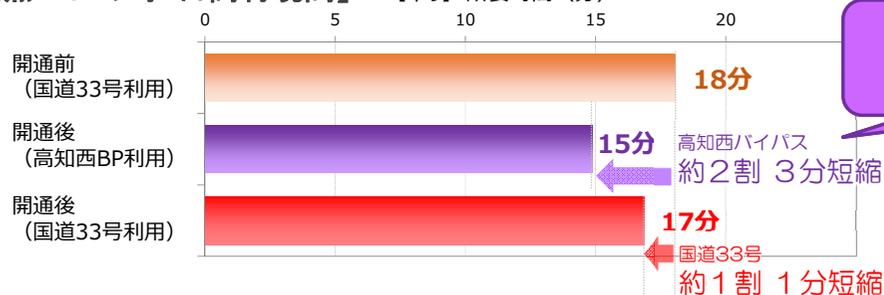
【開通後】



写真) H29.2.3(金) 撮影

<下り(←日高村方面) 開通前後における平均所要時間(7時台)の変化>

【枝川交差点～いの町・日高村境間】



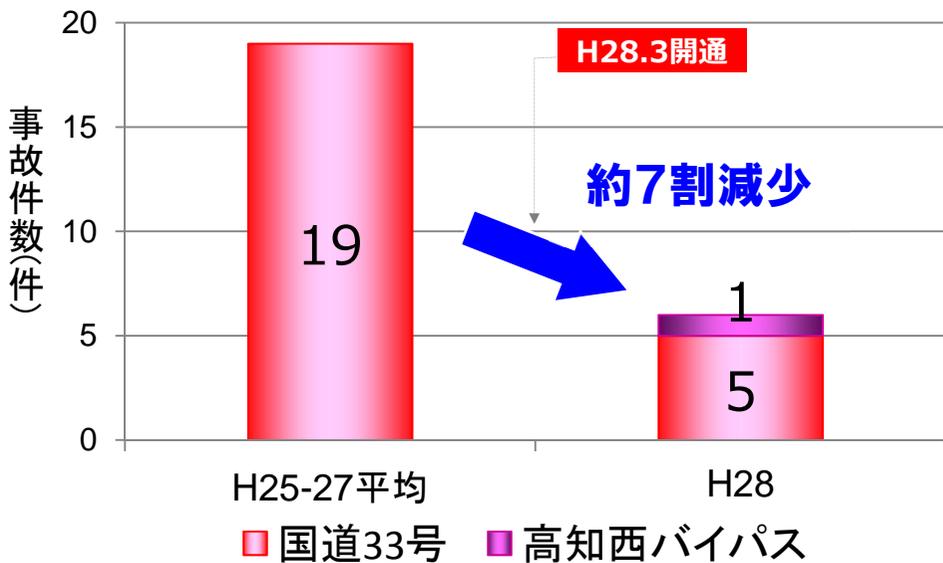
平均所要時間が  
最大約2割短縮

○高知西バイパスに並行する国道33号では、**19件\***の交通事故が発生していたが、高知西バイパスの開通後**並行する国道33号の交通事故は約7割減少**。

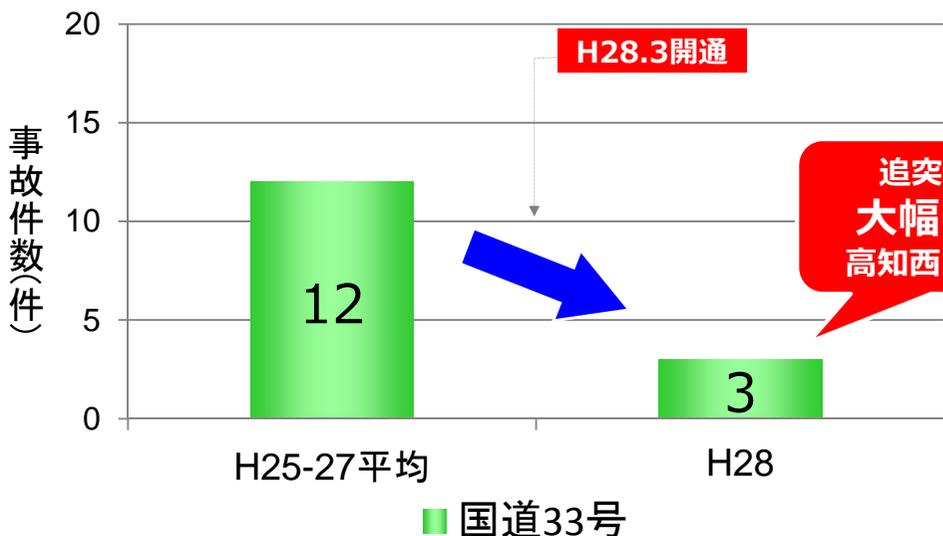
○交通事故のうち約60%を占めていた**追突事故で見ても大幅に減少**。

※H25～27平均（各年4月～12月 物損事故は除く）

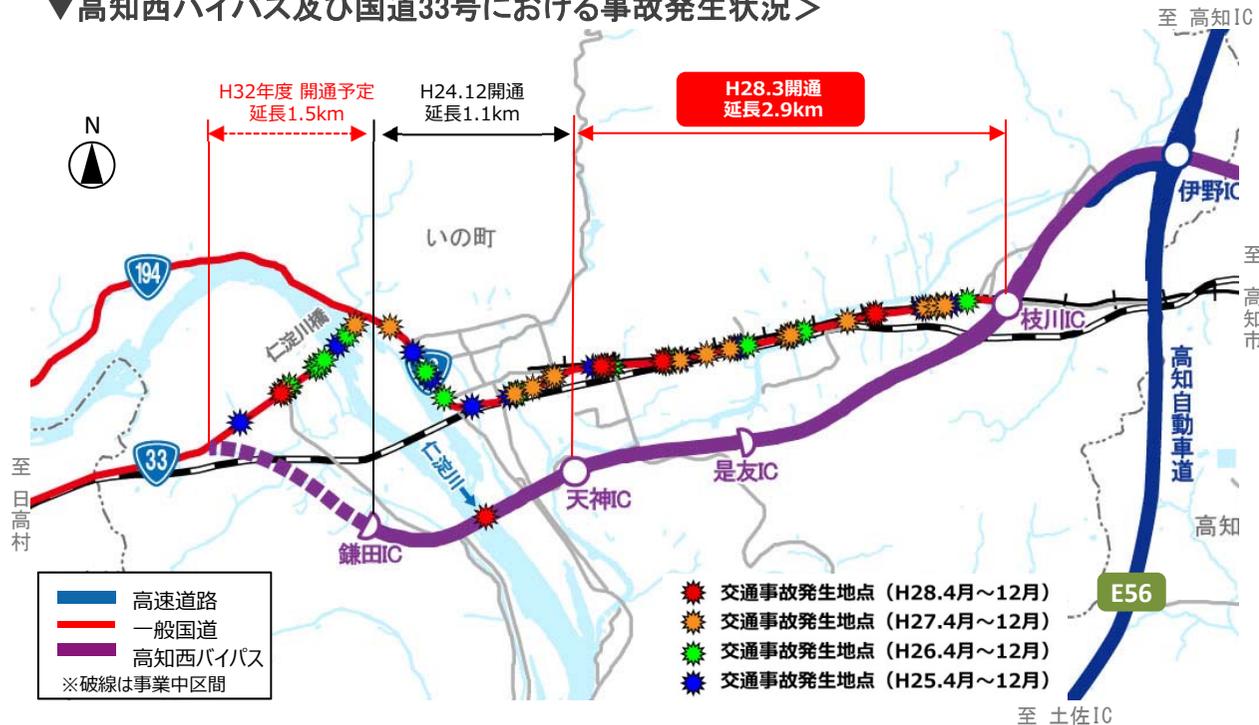
▼開通前後における事故発生件数



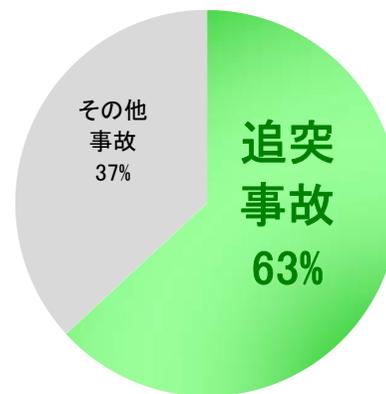
▼追突事故発生件数の推移



▼高知西バイパス及び国道33号における事故発生状況



<参考> 開通前(H25-H27)の国道33号の事故発生件数のうち追突事故の割合



資料) 高知県警察HP  
「ごうちのまわり」高知県事故発生地点情報マップ  
各年4月～12月※物損事故は除く。

# 高次医療施設へのアクセス向上により救急医療に貢献！

- 高知西バイパスの開通により、高知市内の第三次救急医療施設へのアクセス性が向上。
- 高知赤十字病院からの30分・60分圏域人口が拡大し、**30分圏域人口は約124百人から約164百人へ約40百人増加。**

## <所要時間の変化>



資料) 民間プロブ調査結果  
 高知西バイパス区間【開通前】H27.11月 1ヶ月の平日平均(7時台)  
 【開通後】H28.11月 1ヶ月の平日平均(7時台)  
 それ以外の区間は規制速度により算出

## <高知西バイパスを利用する救急車両>

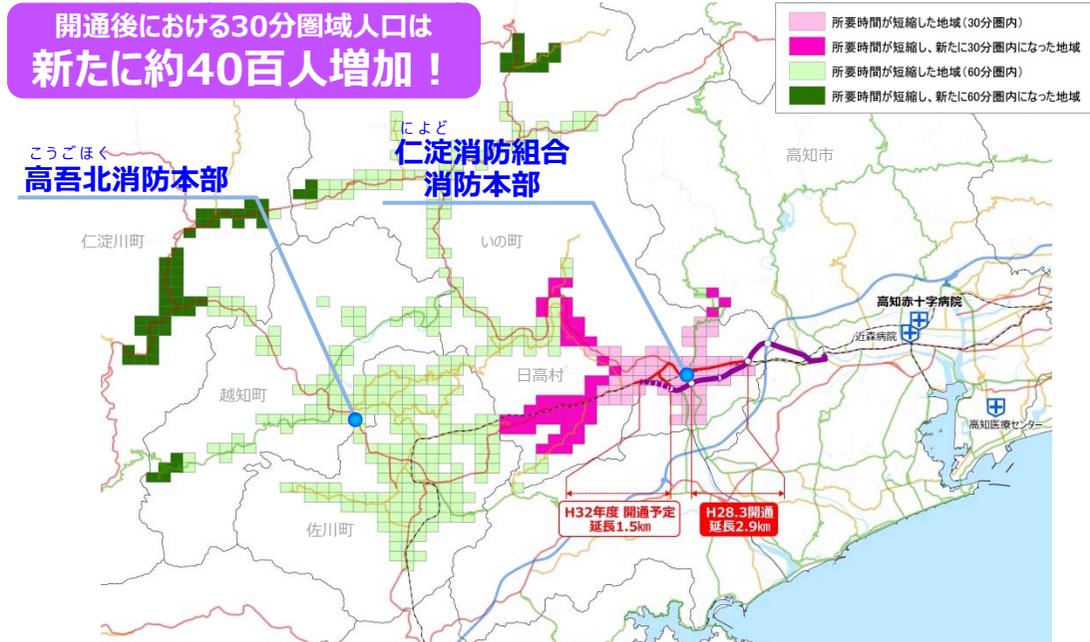


## <高吾北消防本部・仁淀消防組合消防本部>



- ・救急搬送先の約半数が高知市内の病院で、到着までに時間がかかるのが課題でした。
- ・高知西バイパスの整備により渋滞の減少と幅が狭く緊急走向が難しかった仁淀川橋を通らなくてもよくなり、安全に到達できるようになりました。
- ・開通後は、**いの町内を通過し高知市内の病院へのほとんどの搬送が高知西BPを利用しています。**

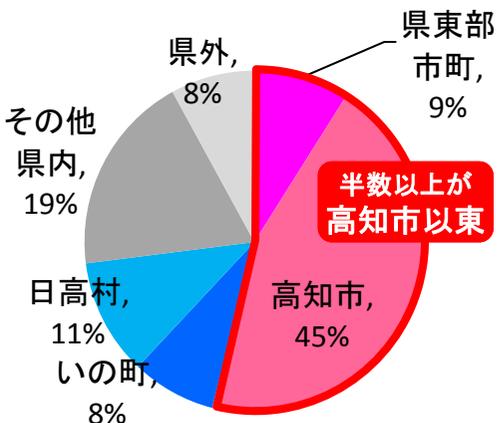
## <高知赤十字病院からの30分・60分圏域>



資料) 民間プロブ調査結果  
 高知西バイパス区間【開通前】H27.11月 1ヶ月の平日平均(7時台)、【開通後】H28.11月 1ヶ月の平日平均(7時台)  
 それ以外の区間は規制速度により算出  
 人口はH22年国勢調査500mメッシュ人口より

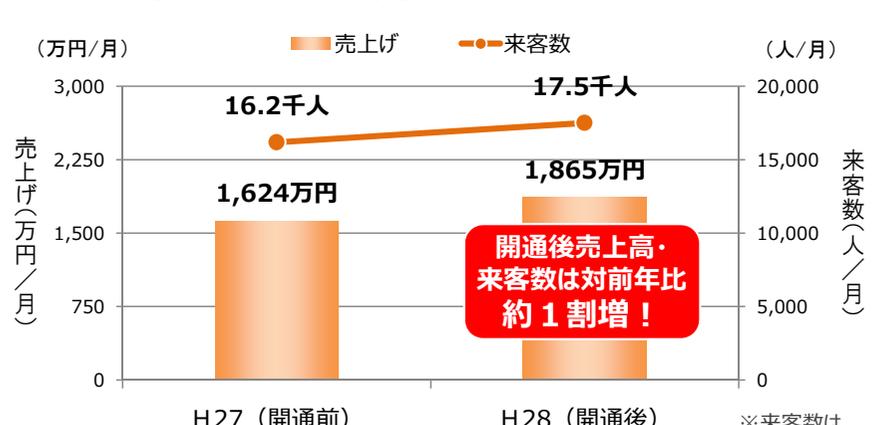
○高知西バイパスの開通により、並行する国道33号の走行性が向上し、高知市以東からの来客が半数以上を占める  
**「村の駅ひだか」の売上げ・来客数が約1割増加に寄与。**

### ＜来客者の居住地＞



【調査日】H28.11.12(土)

### ＜村の駅ひだか 売上・来客数＞



資料) 日高村【開通前】H27年4～12月平均、【開通後】H28年4～12月平均 ※来客数はレジ通過人数

## 「村の駅ひだか」秋も盛況



買い物客でにぎわう「村の駅ひだか」(日高村本郷)



### バイパス延伸効果続く

い始めた。今春の高知西バイパスの延伸効果もあり、週末になると買い物客でにぎわっている。

【佐川】高岡郡日高村「ひだか」で、新米や新高本郷の物販施設「村の駅ナシ」など秋の味覚がそろ

2014年11月に既存来店を歓迎している。  
 施設をリニューアルし、好調な営業が続いている。特に今年3月、同バイパスの枝川インターチェンジ(IC)「天神IC」間が開通し、高知市方面とのアクセスが向上すると、売り上げが急増した。

3月以降の週末や祝日は1日の売上高が100万円を突破する日が増え、秋になっても客足は衰えない。村の特産品、高糖度トマトの登場はもう少し先だが、店内には仁淀川流域の特産品も並ぶ。駅長の朝日雄志郎さん(60)は「行業の合間に買い物を楽しんでもらえれば」と825・4334。

霧山茶園を見学し、屋形船で仁淀川を遊覧しながら昼食。「村の駅ひだか」や渋谷食品を訪ねる。出発は道の駅「南国

参加費は4980円。高知新聞社(同9時)JR伊野駅(同9時半)。

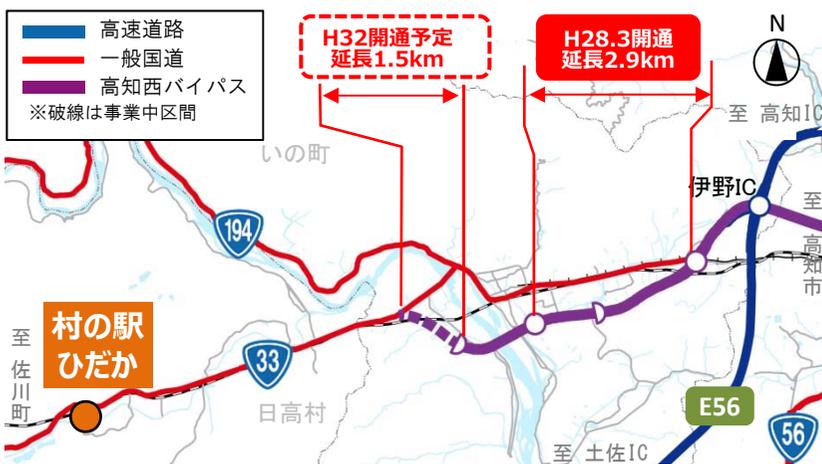


写真) H28.11.12(土) 撮影

### ＜村の駅ひだか＞



- ・高知市内からのお客様がかなり増えています。
- ・10月のふれあい高新 in 日高村では、今までで最高となる 1,200人/日 (レジ通過人数) に立ち寄っていただきました。

資料) 高知新聞 (H28.10.20(木))